

「山下小学校の山下三尺棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

阿久根市立山下小学校

2 学 年

3～6年生（計20人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年7月～9月 夏休み期間中の毎週火・金曜日（本校中庭）

(2) 発表の日時・場所

令和4年9月18日（日）校区敬老会（本校体育館） ⇒ コロナ禍の為中止

令和4年10月2日（日）秋季大運動会（本校校庭）

令和4年11月19日（土）県PTA委嘱公開研究大会アトラクション（風テラスあくね）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

山下三尺棒踊り（やましたさんじゃくぼうおどり）

(2) 由来

江戸時代、外様大名であった薩摩藩が強兵策の一つとして農民を訓練するために奨励した棒踊りが各地に伝播され、それが山下の地にも伝わったものと言われている。

(3) 構成等

6人1組で18人から24人（6人の倍数）が3列縦隊で踊る。踊り手は全員三尺棒を使って踊る。歌い手は3人から5人である。

頭に白のはちまきをし、黒のかすりを黒の兵児帯で締めて着て、赤のたすきを腰まで垂らしてつけ、着物の裾は両腰に吊り上げて着る。足は黒足袋にわらじを履く。堅木の三尺棒を腰に差す。

5 保存会や地域との連携の具体

「山下三尺棒踊り」は戦後途絶えていたが、昔から継承してきた、伝統ある三尺棒踊りを保存しようと、昭和49年に地域の有志により「山下三尺棒踊り保存会」が結成され、復活に努め、地域の行事等で披露され親しまれる存在となっている。その後、本校児童にも体験させようと、平成3年から保存会の指導と協力のもと継承活動が始まった。学校教育活動・PTA活動の一環として、また地域の活性化活動として、小学生の継承活動を進めている。

6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

夏休みを中心に週2回、夕方1時間程度、棒踊りの練習をしている。練習は保存会の会員が仕事終了後、学校に集まり手ほどきをする。

山下三尺棒踊りは、校区敬老会（今年度もコロナ禍の為中止）、秋季大運動会で必ず披露している。また、県PTA委嘱公開研究大会アトラクションでの披露の場もあり、子供たちの意識をより高めることができた。

毎年、山下三尺棒踊りの継承についての話合いの場をもち、保護者への啓発活動も行い、積極的な協力をお願いしている。

7 取組の様子（発表の場等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

指導者の方々の児童への指導をしていただく姿をとおして、伝統芸能への熱い思いを毎年感じている。

この素晴らしい指導者に恵まれた山下小の児童も年々減少傾向にあるが、今後もこの継承活動を絶やすことなく、支えていただいた保護者や地域の方々に感謝の気持ちをもてる「山下の子」として誇りをもって生活させていきたい。